この添付文書は、本剤をご使用になる前に必ずお読みください。
なお、必要なときいつでも読めるよう大切に保管しておいてください。

登録商標

外用塗布薬
複　方

糾勵根（キウレイコン）

複方糾勵根は、自然の生薬を主成分とした粉末の外用塗布薬です。本剤は、水を加えて練り、布にのばして使用します。貼付後ほどなく温熱を感じ、血行をよくし神経痛、腰痛、がんこな肩凝り、打ち身、捻挫などに伴う痛みやつらい症状にすぐれた効果を発揮します。

⚠ 使用上の注意

［相談すること］

1．次の方は、本剤を使用する前に医師または薬剤師にご相談ください。
(1)医師の治療を受けている方。
(2)今までに薬や化粧品等によりアレルギー症状（たとえば発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等）を起こしたことのある方。

2．次の場合は、使用を中止し、医師または薬剤師にご相談ください。
(1)本剤の使用により、発疹、発赤、かゆみ、かぶれ等の症状があらわれた場合。
(2)数日間使用しても症状の改善がみられない場合。

［効　　能］

鎮痛、消炎の目的を以て下記に効果があります。
神経痛、ロイマチス、肩凝り、腰痛、うちみ、くじき、肺炎、感冒、肋膜炎、腹膜炎、痔疾、歯痛、扁桃腺炎、乳腺炎

［成分・分量］

本剤は、暗緑色の粉末で次の成分を含んでいます。

成　分	分量(150g中)	成　分	分量(150g中)
精製樟脳	1.8g	百草霜	21.0g
山梔子末	40.0g	乾姜末	9.0g
半夏末	6.0g	薄荷葉末	1.0g
蕃椒末	22.2g	楊梅皮末	6.0g
黄柏末	40.0g	犬山椒末	3.0g

［用法・用量］

大人は前記の分量の６分の１を１回量として（７歳以下は小麦粉を半量加えて）水を加えてよく練り、布にのばして患部に貼付してください。貼付後水分を失い乾いてきたら取り換えてください。

［用法・用量に関連する注意］

(1) 定められた用法・用量を守ってください。
(2) 目の周辺、粘膜、湿しん、かぶれ、傷口などの部位には使用しないでください。
(3) 小児に使用される場合には、保護者の指導監督のもとに使用してください。
(4) 目に入らないよう注意してください。万一目に入った場合には、すぐに水またはぬるま湯で洗ってください。なお、症状が重い場合には、眼科医の診療を受けてください。
(5) 本剤の使用中、特に強いかゆみや痛みが出た場合には、使用を中止してください。
(6) 貼った患部をコタツや電気毛布等で温めないでください。
(7) ご入浴の際は２時間以上前に剥してください。

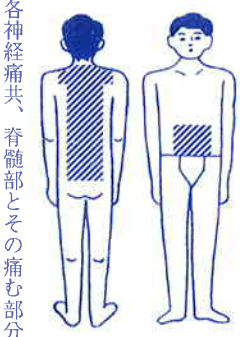
［保管及び取り扱い上の注意］

(1) 小児の手の届かない所に保管してください。
(2) 直射日光を避け、湿気の少ない涼しいところに密封して保管してください。
(3) 誤用を避け品質を保持するため、他の容器に入れかえないでください。

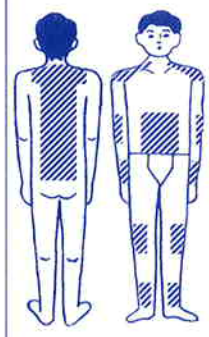
［複方糾勵根の練り方・使い方］

1. 本剤を適当な容器（ボウルなど）に入れ、水を加えてスプーン等で練り、トロロ芋状になるよう水分量を調整して練ってください。
2. 患部に相当する布（綿ネル等）や糾励根シートに練った薬を厚み２㎜程度に塗布し、布に塗布した場合はガーゼ等を薬の上にかぶせ、病症が上半身にある場合は脊髄部と患部に、下半身にある場合は腰部と患部に貼ってください。布をご使用の場合は体に密着するように包帯やテープ等でとめてください。
   ※糾励根シート（別売り）…糾勵根を体に貼付するための専用シートで、簡単に体に貼付できます。サイズも数種類ございます。
3. 温熱感は数時間続き、薬の水分が乾きましたら（個人差にもよりますが貼付後７～８時間位い）剥してください。薬を貼り替える場合は剥した後、２時間以上経ってから貼付してください。
4. 小児７歳以下、又は湿布薬などにかぶれやすい方は、本剤に同量の小麦粉を混ぜてご使用ください。
5. 温熱刺激は個人差や健康状態により強弱がございますが、刺激が強過ぎる場合は本剤に同量の小麦粉を混ぜてご使用ください。
6. 薬の水分が多い場合や、貼付部位を圧迫いたしますと、薬の成分が染みだし衣類等が汚れてしまうことがございますので、ご注意ください。また、染みだし防止の為などでビニール、油紙等、通気性の無い素材で貼付部を覆いますと、かぶれの原因となりますので、ご使用にならないでください。

神経痛（座骨・肋間・顔面神経痛）
各神経痛共、脊髄部とその痛む部分になるべく広く大きく貼って下さい。

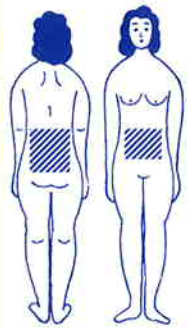


ロイマチス・図の如く貼る。手足のはれ、しびれはその場所へ貼る。

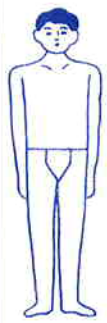


肩凝り・図の如く貼る。

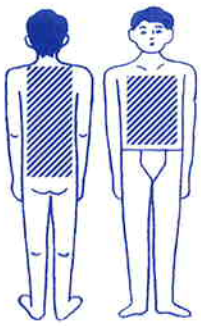
腰痛・腰部と腹部へ貼る。腹痛の如きも同じく図の如く貼る。



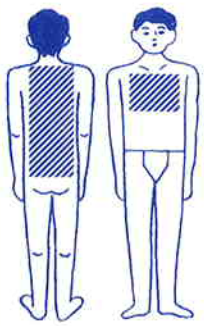
うちみ・くじき・患部へ貼る。薬が乾いたらすぐ取換えて新しく薬を貼って下さい。



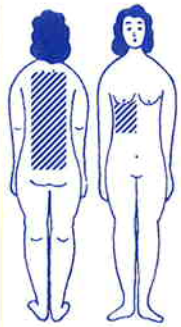
肺炎・脊髄と胸部から下腹部までなるべく広く大きく貼る。



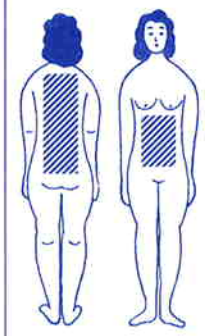
感冒・脊髄と胸部へ貼って下さい。熱のある場合は足の裏一面に貼って下さい。



肋膜炎・脊髄と患部へ貼って下さい。

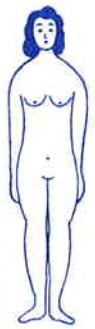


腹膜炎・下腹部と脊髄へ貼って下さい。

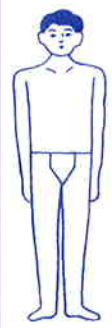


痔疾・腰部と下腹部へ貼って下さい。

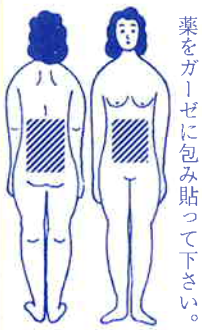
歯痛・痛む方の頬の上に貼って下さい。



扁桃腺炎・咽喉部へ薬をガーゼに包み貼って下さい。

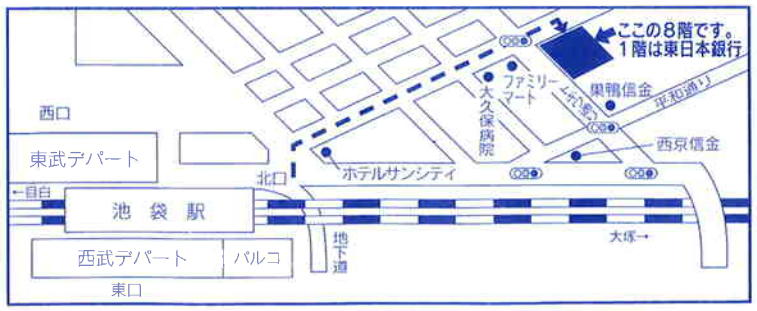


乳腺炎・下腹部と腰部、なお乳部は薬をガーゼに包み貼って下さい。



◇本剤は、生薬（天然物）を使用しておりますので、製品により色調が多少異なること、また、まれに生薬の粒が混在していることがありますが、効能・効果には影響はありません。
◇薬の温熱感に耐えられない場合は、小麦粉を同量混ぜて使用してください。
◇貼付方法や病症についてご質問がございましたら下記のお客様相談室までご連絡ください。

本製品のお問い合わせは、お買い求めのお店または下記までご連絡いただきますようお願いいたします。



製造販売元　糾勵根本舗
株式会社 霜鳥研究所
〒171-0014　東京都豊島区池袋２－47－３
電話　03－3971－2601（代表）
お客様相談室　0120－264－986（フリーダイヤル）
受付時間　9：00 ～ 17：00（日・祝日を除く）

17. 11. 30